



# 不動産実務セミナーを受講して

平成24年11月22日(木) 愛媛不動産会館 4階会議室

研修委員長 張 裕信 (宥清福不動産)

国のデフレ脱却の重要施策のひとつとされる「中古住宅流通市場活性化」をメインテーマに、市場活性化実現の中核を担う宅地建物取引業者の総合コンサルティング機能の強化に向け、平成24年11月22日(木)全宅連・全宅保証主催のもと、12:40より愛媛不動産会館4階会議室において、セミナー研修が行われ、当協会からは出口会長をはじめとする常務役員8名が参加いたしました。

今回のセミナー研修は、平成24年11月13日(火)に代々木ゼミナールの衛星配信システムを活用し、全国24会場の同校舎において全国の方々が同日同時刻一斉に受講した、平成24年度不動産実務セミナー「これからの中小不動産を考える～中古住宅流通市場活性化に向けて～」の講義映像によるセミナーであり、セミナープログラムとして、基調講演では野村正史氏（国土交通省土地建設産業局不動産課長）より「持続可能な国土づくり

に向けて不動産業が目指すべき方向性」について、第1部では中城康彦氏（明海大学不動産学部長）より「これからの中小不動産の進む道とは」について、第2部では西生建氏（一般社団法人既存住宅インスペクター教育研究会代表理事）より「中小不動産業にとってのインスペクションとは」について、第3部では熊坂仁美氏（ソーシャルメディア研究所代表）より「Facebookを不動産業に活かす」についての講演であり、およそ4時間にわたるセミナーでありました。

「これからの中小不動産を考える」我が県における多くの中小不動産業者が、不動産業に関わる環境の変化等を踏まえ、今後の事業展開の方向性等、持続可能な経営をしていくには・・・。

次回、本部研修会にて会員の皆様にもその内容を報告致したいと思っております。

